

師走 ひふみのあゆみ

ひふみ投信 12 月度 ご報告書

2009 年 1 月 9 日号

レオス・キャピタルワークス株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第 1151 号

加入協会: 社団法人投資信託協会

社団法人日本証券投資顧問業協会



RHEOS CAPITAL WORKS

師走 (12 月)

「しわす」の語源は、師匠(僧)が東西を馳せる月と解釈する「師馳す」、「年が果てる」という意味の「年果つ(としはつ)」、「一年の最後になし終える」の意味の「為果つ(しはつ)」など、様々です。2008 年は社会的に大きな動きがあり、苦しい思い・気持ちで過ごされた方も多いと思います。そんな「年が果て」、2009 年は希望に満ちた年になるといいな。



お客さまの資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、誠にありがとうございます。運用責任者から皆さまへのメッセージならびに 2008 年 12 月の運用状況などをご報告いたします。

■12 月のひふみ投信の運用環境・今後の見通し

ひふみ 初めの 3 ヶ月間は驚くほど順調

12 月の株式市場は、特に米国で実質的なゼロ金利にするなど思い切った政策が取られ、またオバマ政策期待も手伝って、世界的に悪いニュースは続いたにもかかわらず堅調に推移しました。そのなかでひふみは、12 月もプラスになり、少々で過ぎなほど順調に設定からの 3 ヶ月間を終えることができました。今月も、「アスクル」「ゴールドクレスト」「ソフトバンク」といった国内の消費に関連する株式が着実に上昇しました。一方で、「日本電産」というモーターを作っている会社が、11 月後半から予想以上に需要が急減したため業績見通しを引き下げ、株価も安くなったのですが、逆にここから永守社長と会社の踏ん張りが期待できると考えて、月末に買い増しました。

大変な 2008 年でした…そして 2009 年は綱引き？

2008 年は、米国金融危機に端を発した世界的な混乱により、人類の歴史に残る年になりました。これは、これまで積みあがっていた「過剰な設備(新興国の生産設備と欧米の住宅)」と「過剰な米国の個人消費」、そしてそれを支えた「過剰な貸付」が、ちょっとしたほころびから逆回転を始めたため、世界中が同時に深く混乱してしまった、ということだと思います。ただこの世界的な 3 つの過剰の解消には、深さとともに長い時間がかかるでしょう。それは、①頭ではわかっているけれども、慣れきった消費習慣や一度持ってしまった設備をなかなか「捨てる」ことができないという(日本人も体験した)感情が判断を遅らせることや、②自動車業界で起こっているように、過剰消費が解消される過程で設備が更に余る(需要減退による生産工場休止など)という追いかけっこにもなりやすい、からです。

さて 2009 年に入りましたが、今年はどうなるのでしょうか？ 多分世界中で、経済のみならず社会や政治、生活にいたるまで、これまでの反省をして新しい形を創り始める「生みの苦しみ」の年になるのではないかと考えています。政治的には、米国ではオバマ新大統領が登場し「チェンジ」するでしょうし、日本でも衆議院総選挙を経て新しい政治の形が登場するかもしれません。また経済的には、世界中で金利を下げたり政府や中央銀行が必死でお金を使って下支えしようとしていますから、一時的な効果はあると思いますが、根本的には危機感を持って過剰を早く解消し新しい形を見つけた国・産業・企業から再成長が始まると思います。それはきっと日本であり、その中でも既に新しい形を見出している企業群であるように思います。株式市場としては、戻ってほしいという期待と、そう簡単ではないという現実の綱引きで行ったり来たりしながら、新しい企業群が生まれてくることになるでしょう。

市場は 期待と現実で行ったり来たり

市場では、年始から早速、期待と現実の綱引きが始まり、まだまだ厳しい環境にある株式が期待で買われ、これまで順調だった日本の消費に関連する株式が売られたことで、ひふみは一時的に下がっています。しかし、いずれまた現実を直視せざるを得ない環境に直面することになるので、一時的な動きだと考えています。今後も、紆余曲折があるとは思いますが、是非暖かいご支援と理解をいただき、皆さまの資産形成のお手伝いできれば幸いです。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

(ひふみ投信 運用責任者 立田博司)

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

■ひふみ投信の特色について

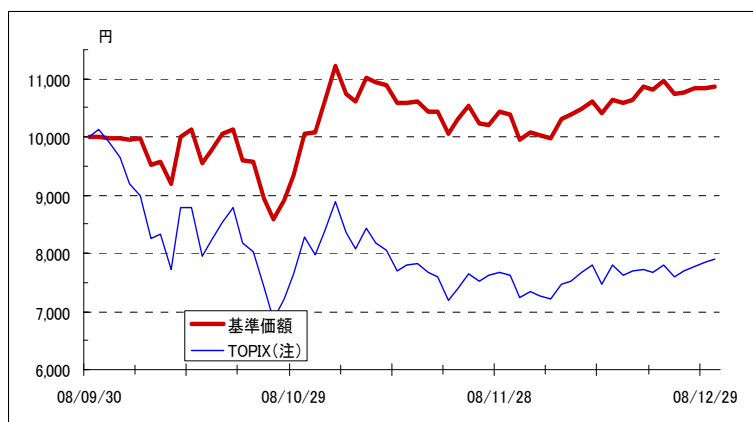
ひふみ投信は、お客さまの長期的な資産形成に貢献するために、円貨での信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、国内・外の上場株式に投資することにより、積極運用を行ないます。

■基準価額について（「ひふみ投信」の値段のことです）

◆基準価額の推移

基準価額	
2008年12月30日時点	
1万口当り 10,858円	

基準価額のあゆみ [騰落率]		TOPIX騰落率
過去1カ月	4.13%	2.93%
過去3カ月	8.58%（※1）	-20.98%（※2）
設定来	8.58%（※1）	-20.98%（※2）



- ※1 基準価額の騰落率は、当初募集価額(10,000円)から2008年12月30日までにおける数値です。
 ※2 TOPIX騰落率は、当初設定日前日である2008年9月30日から12月30日までにおける数値です。

（注）TOPIXは、当初設定日前日である2008年9月30日の値(1087.41)を10,000として指数化しています。

※基準価額は、信託報酬(年1.029%(税抜年0.980%))を控除した後の数値です。

★TOPIX(東証株価指数)は当ファンドのベンチマーク(運用する際に目標とする基準)ではありませんが、参考として記載しています。
 TOPIXとは・・・東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額(株数×1株当り時価)を指数化したものです。
 日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。

■「ひふみ投信」の資産内容について（2008年12月30日時点）

皆さまからお預かりした大切なご資金で、どのように運用を行なっているのかをご報告いたします。

□ 資産の内訳

純資産総額	2.49億円
うち 株式	97.59%
うち 預金その他	2.41%



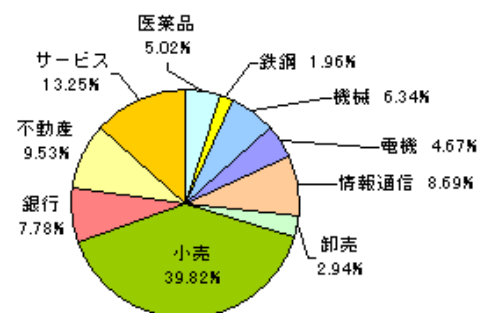
国別の割合	
日本株式	100%
海外株式	0%

□ 組入比率の高い銘柄

(組入銘柄数:32銘柄)

	銘柄名	業種	比率
1	ゴールドクレスト	不動産	7.81%
2	アスクル	小売	5.58%
3	ゼンショー	小売	4.85%
4	エイチ・アイ・エス	サービス	4.73%
5	日本電産	電機	4.67%
6	サイゼリヤ	小売	4.60%
7	ソフトバンク	情報通信	4.48%
8	ニトリ	小売	4.18%
9	三井住友フィナンシャルグループ	銀行	4.17%
10	第一三共	医薬品	4.06%

■ 組入銘柄の業種比率



*組入比率は、いずれも「株式資産」に対する割合です。

- ・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
- ・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

■ お客さまのご質問にお答えします

「ひふみ投信」へのご投資や運用に関して、これまでにお客さまからいただいたご質問をとりあげます。

【ご質問】 (1)投資信託の税金は、2009年からどう変わるの？ (2)特定口座には対応しないの？

【コミュニケーション・センターがお答えします】

(1)①「ひふみ投信」の解約で生じる利益は、(株式の売却益と同様に)「譲渡所得」として扱われます。

原則として、お客様による確定申告が必要です。

ただし、特定口座(源泉徴収を選択する)の開設等、一定の条件を満たせば確定申告を不要とすることができます。

②分配金が支払われた場合、投資信託や株式の換金で生じた損失と通算できます(確定申告が必要です)。

③解約で生じる利益や普通分配金に対する税率は、年間の合計金額に応じて10%および20%の2段階となります。

(★注意)

上記は、現時点での制度に基づいた内容です。③に関しては今後変更される可能性があります。

2008年12月に与党および財務省が取りまとめた「平成21年度税制改正大綱」では、10%の軽減税率を

2009年(平成21年)1月以降も適用し、2011年12月31日まで延長する旨が記載されています。

このため、実際は2段階制ではなく昨年までと同じく「一律10%」という軽減税率が2011年末まで適用されそうです。しかしながら、こちらが正式に法として決定されるのは、国会において審議された後ですので今年の春以降になります。

(2) お待たせして申し訳ありません。

当社では、1月下旬から特定口座サービスを導入するため、現在準備を進めております。今月中には、特定口座の申込用紙などをご自宅に発送しますので、どうぞご確認ください。

なお、今までにお買い付けいただいた「ひふみ投信」は、法令上2009年5月31日までに所定の手続を行えば、特定口座で管理されます。こちらの依頼書もあわせてお送りします。当社内での手続の関係上、依頼書のご提出期限は、上記期日より前に定めさせていただきます。

ご不明な点がございましたら、コミュニケーション・センターまでお気軽におたずねください！

■ ご参考資料：『ひふみ投信』の組入全銘柄(2008年12月30日時点)

	銘柄名	比率	銘柄コード	業種	市場
1	ゴールドクレスト	7.81%	8871	不動産	東京一部
2	アスクル	5.58%	2678	小売	東京一部
3	ゼンショー	4.85%	7550	小売	東京一部
4	エイチ・アイ・エス	4.73%	9603	サービス	東京一部
5	日本電産	4.67%	6594	電機	大阪一部
6	サイゼリヤ	4.60%	7581	小売	東京一部
7	ソフトバンク	4.48%	9984	情報通信	東京一部
8	ニトリ	4.18%	9843	小売	東京一部
9	三井住友フィナンシャルグループ	4.17%	8316	銀行	東京一部
10	第一三共	4.06%	4568	医薬品	東京一部
11	DCM Japanホールディングス	3.99%	3050	小売	東京一部
12	ファーストリテイリング	3.73%	9983	小売	東京一部
13	スルガ銀行	3.61%	8358	銀行	東京一部
14	イオン	3.12%	8267	小売	東京一部
15	リゾートトラスト	3.09%	4681	サービス	東京一部
16	三井海洋開発	3.02%	6269	機械	東京一部
17	ハニーズ	2.98%	2792	小売	東京一部
18	サンリオ	2.94%	8136	卸売	東京一部
19	ワークスアプリケーションズ	2.54%	4329	情報通信	JASDAQ
20	ヒラノテクシード	2.20%	6245	機械	大阪二部
21	総合メディカル	2.17%	4775	サービス	東京一部
22	ヴェレジヴァンガードコーポレーション	2.05%	2769	小売	JASDAQ
23	ワタミ	2.00%	7522	小売	東京一部
24	住友金属工業	1.96%	5405	鉄鋼	東京一部
25	アコーディア・ゴルフ	1.87%	2131	サービス	東京一部
26	サザビーリーグ	1.78%	7553	小売	JASDAQ
27	リロ・ホールディング	1.72%	8876	不動産	JASDAQ
28	大塚商会	1.67%	4768	情報通信	東京一部
29	スタジオアリス	1.39%	2305	サービス	東京一部
30	井上金属工業	1.12%	6246	機械	大阪二部
31	ベルク	0.96%	9974	小売	東京二部
32	ツムラ	0.96%	4540	医薬品	東京一部

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認ください。投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

■ 次回のひふみのあゆみは1月後半にお届けします。

1月のポートフォリオの内容については、次々回(2月初旬)にご報告いたします。

「ひふみ投信」のコミュニケーション(セミナー)のお知らせ

ひふみサロン (ためてふやすはじめの一步)

まだ預金しかしたことがなく、はじめの一步を踏み出せないあなたへ。
「こんなこと聞いてもいいの?」「初歩的なことで気が引ける…」など、お金のことに興味はあるけど、セミナーへの参加は気が引けるというお客様にも安心してご参加いただいております。

- ① 1月21日(水) 15:30 ~ 17:00 ② 2月4日(水) 15:30 ~ 17:00
③ 2月17日(火) 19:00 ~ 20:30

ひふみアカデミー (もっと詳しく知りたい)

投資信託の運用や、株式市場、経済に関して、もっと突っ込んで勉強してみたい方のために「ひふみサロン」よりレベルアップした内容となっております。
特に、100年に1度の世界的金融危機以降、今後の経済や市場の動向についての質問が多く寄せられています。
ファンドマネージャーの説明もさることながら、参加された他のお客様の意見も参考になるとご好評をいただいております。

- ① 1月13日(火) 19:00~20:30 ② 1月29日(木) 14:30~16:00
③ 2月9日(月) 19:00~20:30 ④ 2月26日(木) 15:30~17:00

場所 : 当社会議室(東京メトロ半蔵門線 半蔵門駅徒歩4分) <http://www.rheos.jp/about/overview/access.html>

人数 : 各回15名(先着順とさせていただきます)

参加費 : 無料

当社ホームページからお申込みください。 http://www.rheos.jp/hifumifund_ca/seminar.html

◆「ひふみ投信」の概要について ※詳しくは投資信託説明書(目論見書)をご確認ください

商品分類	追加型投信/内外/株式	
当初設定日	平成20年10月1日	
信託期間	無期限	
決算	毎年9月30日(休業日の場合、翌営業日)	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。	
お申込み	お申込単位	10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。 なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
	お申込価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
	お申込受付日時	当社営業日の9時~15時までとなります。 (国内の金融商品取引所の売買立会が午前立会のみ)の半休日は11時まで)
途中換金	途中換金(解約)単位	1口以上または1円以上
	解約価額	「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。
	受付日時	当社営業日の15時(半日営業日は11時)までとなります。 解約のご請求は、お電話による受け付けのみとなります。
課税関係	収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の差益に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。	

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

◆ 「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。その他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

◆ お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用：ありません

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。

なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用：次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.029%(税抜年0.980%)
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.00525%(税抜年0.005%)
その他の費用	組入有効証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※ 「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

～お問い合わせ先～
コミュニケーション・センター
電話： 03-5214-0123 (平日9時～17時)
メール： cc@rheos.jp



レオス・キャピタルワークス(株) のメールマガジン 「ひふみ便り」

代表取締役社長の藤野英人のコラムをはじめ、当社からのお知らせを含めた内容を、隔週で配信しています。

- お申込みはこちらから <https://www.rheos.jp/hifumi-tayori/>
- バックナンバー <http://www.rheos.jp/magazine/index.html>

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。